

クヌッセン機関長きかんちょう

わたしたちのクラスでは、総合的な学習の時間に、日本とつながりの深い国について調べました。調べていくと、日本と韓国が合同で開催したサッカーのワールドカップで、和歌山県の人々がデンマークチームを支援したことを知りました。（和歌山県の人々は、どうしてデンマークチームを支援したのかな。）

不思議に思って調べてみると、今から六十年ほど前におこったあるできごとに関係があることがわかりました。

昭和三十三年（一九五七年）二月十日、冬の嵐の夜のことです。美浜町の日の岬灯台沖の海上で、徳島県の高砂丸という船が火事を起こして波にもまれていました。乗組員は三人。



サッカースクールで小学生と交流するデンマークチーム

真っ暗な海の上で北風がはげしくふきつけ、火はどんどん大きくなり、とうとう燃料に燃えうつり爆発したのです。

「もうだめだ。」

全身にやけどをおった船員の一人は、力つきて大きな波にのまれてしまいました。残った二人は、燃えさかる火に追われながら、必死で助けを求める信号旗をマストにかかげました。火はさらに大きくなり、海はますますあれくるうばかりです。

その時、暗い海からポーポーと汽笛が聞こえてきました。通りかかったデンマークの貨物船エレン・マークス号が救いに来てくれたのです。

「助かった。」

二人は、一生懸命手をふりました。その時、強風のため、二人の乗った船が急にかたむきました。

「あつ……。」

一人の船員が、あつという間に海中へほうり出され波にのまれてしまいました。

「速度を落とせ、ライフボート用意。」

モーラ船長がどなります。やっとあれくるう波の上にボートが下ろされました。オールをにぎるマーク

ス号の船員に、

「大丈夫か。」

と、ヨハネス・クヌツセン機関長がさげびます。ボートは、山のようにうねる波に何度ものまれそうになりながらも、ぐいぐいと進んで行きます。

高砂丸からは、真っ黒な夜空にもすごい火柱があがり、辺りには火の粉が飛び散り、けむりがもうもうと出ています。ボートは、高砂丸に近づいてははなれ、はなれては近づいて、ようやく救命具を投げました。

やがて、たった一人残った日本人船員を無事ボートに救い上げました。

「やったぞ。」

マークス号の甲板では、どっと喜びの声があがりました。間もなく助けられた日本人船員は、本船からおろされたはしごを上り始めました。

「もう大丈夫だ。」

みんなは、甲板から下のボートをのぞきこみながら口々に言いました。

しかし、次のしゅん間、せっかく助けられた日本人船員は、もう少しのところではしごから海に落ち

てしまったのです。思いがけないできごことに、みんなはぼう然^{ぜん}としていました。

その時です。

「おれが助けに行ってくる。」

クヌツセン機関長は上着を脱^ぬいで、あれくるう氷のように冷^{つめ}たい海に、ためらうことなく飛びこみました。止める間もありませんでした。クヌツセン機関長は、一度は日本人船員を救い上げましたが、おそいかかった大波にのまれ、そのまま二人ともすがたが見えなくなってしまいました。

すぐにボートで二人をさがし続けましたが、見つかることができないまま夜が明けました。その朝、日高町田杭^{ひだかちょうたくい}の磯^{いそ}でクヌツセン機関長が帰らぬ人となって発見されました。身につけていたライフジャケットは、大きくさけてぼろぼろになっていました。集まった人々は、

「あの嵐の中を、日本人船員を助けるために海に飛びこむなんて、人間にできることではない。神様のような人だ。」

と、涙^{なみだ}を流しながら手を合わせました。

その三週間後には、阿尾^{あお}の浜沖合^{はまおきあい}三キロメートルの海底^{かいてい}で日本人船員も発見されました。



クヌッセン機関長の胸像（美浜町）

遺体が発見された田杭地区の人たちは、供養塔を建て、今もそうじをし、花を供え続けています。

現在、美浜町の日の岬パークには、クヌッセン機関長の胸像が建てられ、航海の安全を見守るように海を見つめています。この胸像はデンマークの彫塑家グールセン・ホルム・クリン氏の作品で、昭和三十七年（一九六二年）六月五日に、デンマーク駐日大使により、ここで除幕されました。毎年二月十日には、大勢の人が集まり記念祭が行われています。

※注1 彫塑家・・・木・石・金属などを彫り刻んだり、

粘土などで像をつくったりする人。

※注2 駐日大使・・・日本に来ている国の使節の中で

一番位の高い人。



供養塔（日高町）

(参考文献)

- ・『道徳教育郷土資料 ふるさと わかやまの心』和歌山県教育委員会・和歌山県道徳教育推進協議会

- ・『郷土読本みはま』美浜町教育委員会

- ・『ヨハネス・クヌツセン物語 やさしさをありがとう』美浜町

- ・『尊い命、救う勇気を受け継がれていく感謝の心』クヌツセン機関長遺徳顕彰促進協議会・日高町

(写真提供)

- ・美浜町教育委員会

- ・日高町教育委員会

- ・『2002 FIFAワールドカップデンマークチーム和歌山キャンプ報告書』和歌山県キャンプ実行委員会